

すまいと
すまいる



ひろしま 住まいづくりコンクール 2012 作品集

「ひろしま住まいづくりコンクール」は、住む人の笑顔とプロフェッショナルたちの成果を広く伝える場です。



受賞作品発表!

広島県知事賞

「三筋の家」

～二世帯三世代が繋がるための隣居型住宅～

保存版



INDEX

01-02

広島県知事賞
三筋の家 ~二世帯三世代が繋がるための隣居型住宅~
平田 欽也(一級建築士事務所 有限会社アトリエ平田)

03

リフォーム部門 最優秀賞
この家を守りたい! ~築80年の蔵を蘇らせたリフォーム~
平岡 静世(株式会社マエダハウジング)

04

リフォーム部門 優秀賞
三百年の歴史を持つ伝統の日本家屋を繋ぐ
上木 浩二+藤原 宏文(株式会社クラージュプラス)

05

リフォーム部門 優秀賞
八幡東の家 ~減築して使い勝手が良い快適住まい~
岸田 彰(株式会社マエダハウジング)

06

リフォーム部門 優秀賞
築47年の家を省エネ&耐震リフォーム
平岡 静世(株式会社マエダハウジング)

07

リフォーム部門 奨励賞
ヒヨコハウス
林 健次郎(一級建築士事務所 インブレイス)

08

リフォーム部門 奨励賞
宮原U
可児 公一+植 美雪(建築設計事務所 可児公一植美雪)

09

リフォーム部門 奨励賞
中古住宅再生 ~子育てを楽しむ家へ~
舛木 清子(株式会社トータテハウジング)

10

リフォーム部門 奨励賞
昔の面影を残し,安全,快適,省エネとの融合リフォーム
松林 弘美(リファイン五日市 株式会社丸共 一級建築士事務所)

11

新築部門 最優秀賞
段原の家
久保井 邦宏+藤本 武士(株式会社アトリエドリーム)

12

新築部門 優秀賞
Narrow house ~都市型 狭小地の家~
立河 博喜(株式会社トータテハウジング)

13

新築部門 優秀賞
上奥畑の休暇小屋 ~畑と暮らすパッシヴ・ハウス~
田村 篤(株式会社田村建設建築設計事務所)

14

新築部門 優秀賞
黒瀬の家
稲垣 年彦+大賀 環子(一級建築士事務所トリムデザイン)

15

新築部門 奨励賞
内外空間の連続を立体的に構成した家
宮森 洋一郎(有限会社 宮森洋一郎建築設計室)

16

新築部門 奨励賞
黒瀬の家
高原 良彦(株式会社坂田工務店)



審査委員長	間野 博	県立広島大学 教授
審査委員	一丸 昌弘	住宅金融支援機構中国支店 支店長
	錦織 亮雄	(社)広島県建築士会 会長
	谷口 和郎	(社)広島県建築士事務所協会 副会長
	山田 暁	(社)日本建築家協会中国支部 支部長
	門田 文雄	(一社)広島県建築センター協会 専務理事
	長谷川 順	広島県住宅地産産業四団体協議会 世話人代表
	前田政登己	(一社)日本増改築産業協会中国四国支部代表者 支部長
	河原 直己	広島県建築技術部長



~ごあいさつ~

生活の三要素について、これまで「衣食住」とされてきました。高齢化や過疎化の進展に伴い、地域医療の確保、更には高齢者や若者を中心とした職の確保などが、喫緊の課題としてクローズアップされるようになり、「医職住」が地域社会の中で生活する上での三要素となっているとの指摘もあります。相変わらず、「住」が生活の必須要素となっていますが、戦後から高度成長期を経て成熟社会を迎え、住まいのあり様は戦後の住宅不足を背景とした量的充足から質の高い住宅の確保へと大きく変わってきているように思います。今年度のひろしま住まいづくりコンクールは3回目となりますが、今回は「リフォーム部門」と「新築部門」の2部門に分けて、住宅作品を募集しました。

「リフォーム部門」では、省エネや耐震改修など、既存の住まいの性能向上をテーマに、「新築部門」では、長く住める住まいや県産材の利用など、新築住宅の今日的課題をテーマとし、更には、住み手と作り手の間の住まいづくりの段階での様々な希望や創意工夫を語っていただくことで、広島に住まいづくりがビジュアルな形として浮かび上がることを期待しました。募集の結果70作品もの応募があり、また優れた作品が多く、審査委員による厳正な審査を行った結果、15作品を受賞作品として選出しました。受賞作品には、光や風の採り入れ方、導線への配慮、耐震性や断熱性の向上、地域性への配慮など、様々な創意工夫が込められています。

この作品集は、住まいづくりにおける建築主の希望や想い、設計者と施工者の創意工夫や考えを取りまとめたものとなっています。住まいづくりに携わった人たちの想いや創意工夫は、県民にとっての宝であり、リフォームや新築を行う際に大いに参考となるものです。この作品集を住まいづくりの参考としていただき、より要望にあった質の高い住まいの実現の一助としていただければ幸いです。最後に、コンクールに応募いただいた多くの皆様、厳正な審査をいただいた野間審査委員長を初めとする審査委員の皆様、そして、御協力いただいた関係団体の皆様に対して厚くお礼申し上げます。



平成25年3月
広島県都市技術審議官 岩佐 哲也

ひろしま住まいづくりコンクール2012 概要

実施目的 広島県内で施行された住宅リフォームや新築等の工事中において、様々な創意や工夫の事例を募り、優秀な作品を、ひろしまの住まいづくりとして表彰し、これを県民に広く紹介することにより、本県の住宅産業の活性化とその水準の向上に寄与することを目的としています。

応募期間 平成24年9月~平成24年11月20日

応募者の要件 応募作品の住宅の建築主(施主)、設計者又は施工者。

応募対象 平成21年4月から平成24年10月末の応募期間までの間に、工事が完了したリフォーム又は新築等の実施例で、次の条件を満足するものを対象とします。

- 用途は住宅であること。(一戸建て、共同住宅の別は問わない。)
- 工事場所は広島県内であること。
- 「リフォーム」は、増築・改築・模様替え等を行うものであること。(規模の制限等は不問。)
- 住宅の構造、建方形式は問わない。
- 建築基準法等関係法令他の各種規定を遵守している住宅であること。
- 過去にひろしま住まいづくり支援ネットワークが主催した住宅に関するコンクールに応募していないものであること。

審査基準 応募された作品を次の観点から総合的に審査し、賞を選考します。

- | | |
|----------------|---|
| 全般 | ●一般家庭で参考にしやすい価格や工事内容で、県民の誰でも見本にすることができ、住みやすさの工夫があることで、広島県に住み続けたいと思える住まい。
●工事の過程で生じた困難や問題を解決するまでに至った工夫や技術。 |
| リフォーム部門 | ●地域の気候・文化・環境に即した省エネ工法の普及、施工方法の確立された住まい。
●多様な住宅に対応した耐震改修技術の普及、施工方法の確立された住まい。 |
| 新築部門 | ●長期に渡って利用されることを見据えた耐久性等高品質を備えた住まい。
●県産材、地域産材を利用し、地域の住文化の継承及び街並みの維持と保全に配慮し、木材・健在の特性に即した材料利用方法の普及、施行方法の確立された住まい。 |



三筋の家

二世帯三世帯が繋がるための隣居型住宅

広島市佐伯区



スタディースペースよりキッチンを見る。階段下は子ども達の収納スペース。



LDK / 左は実家の庭、右は中庭が見える。



1階は左より中庭・スタディースペース・玄関・2階ホールが見える。

選評
 (審査委員長 間野 博)
 ちよつと贅沢だが、すつきりした外観の中に家族思いの工夫を満載した家である。木をふんだんに使い、明るく健康感がある。室間の仕切りがない、吹き抜けなど、開放的で、家族の絆が自然と育まれる空間となっている。スタディースペースをはじめ、隅々まで空間が活用されている。家族の成長に備えた可変性もある。



東側全景。実家の庭に隣接している。右側建物は母屋。



中庭よりLDKを見る。奥の窓より庭を介して母屋が見える。



スタディースペースより中庭を見る。窓の上は2Fまで本棚が続く。



西側夜景 / 2階右側は物干場。ここより中庭に光を取り込む。



2階 子ども室 / ホールの上にロフトが見える。入口はすべて引込戸なので、2階全体がひとつの空間になっている。



西側外観 / 道路と集合住宅に面しているので格子を設け、プライバシーを守りながら採光・通風を取り込む。



中庭はバーベキューをしたり夏はプールで水遊びをしたり家の一部として活躍中。

**設計・施主の創意工夫点
 施主の感想・満足度など**

「隣居という住まい方」
 実家の隣に「若夫婦の家」を建て、ご近所とも繋がりがながら、二世帯が支え合える暮らしが描かれた。緑豊かな実家の庭を共有し、どこにいても家族の気配が感じられる住まいは三世帯間の交流が自然に育まれてゆく。

「長く住み続けるために」
 建物の高耐久化に加えて、家族の成長に合わせた住まいの可変性を考えた。光や風を積極的に取り入れつつ、魔法瓶のような外断熱の家に蓄熱型床暖房・床冷房を組み合わせた。開放的な住まいで快適な生活を末永く支えてくれるだろう。

建築主	田代 良仕 様
設計者	平田 欽也 <small>(二級建築士事務所 有限会社 平田 幸由)</small>
TEL	(082) 922-6700
TEL	(082) 244-3591
施工者	森信建設株式会社

三百年の歴史を持つ伝統の日本家屋を繋ぐ



LD/時を繋いで今尚揺るぎなくしっかりと住空間を構成している柱や梁はそのままと「古き良きモノ」と「モダンなモノ」が調和した空間を追求した。



DK/トップライトやインナーサッシを新たに設け、自然光を取り入れ断熱効果を高める等機能面にも配慮した空間を追求した。



外観/壁面を白塗り木部を墨色にし、窓廻り・種も合わせて墨色に統一。建築当初の姿を復元した。

選評 (審査委員 門田文雄)

まず、建坪の大きさに驚いた。こつこつとした古い家は、広いだけでなく、床の高低差が多くあり、例えば、玄関は土間で部屋に上がるのに、式台など、何段も上がらなければならず、高齢者には最も不向きで、また、転倒など危険この上ない。

このような古民家を手掛けるのは、施工(仕事)を発注する側も、会社(仕事)を受ける側・施工する人)も、大変な勇気と決断がいると思われる。その上で、施主の要望(希望)を取り入れ、バリアフリーに対応して、住み慣れた家(古い)を、現代建築(材料)に、マッチさせて、住み良い家(安心)に蘇らせた事に感心した。



蔵外観



趣味の部屋(ピアノ室)



吹き抜けて開放感



使いやすいロフト



真っ暗だった室内



LDKタイルを配置したニッチ



モダンな洗面所



奥様こだわりのキッチン

選評 (審査委員 錦織亮雄)

既存の蔵を大切にする発意が尊い。蔵の記憶を残しながら、光や風を工夫し、さらりとインテリアだけをリフォームして現代風のライフスタイルを実現している。あまり大きさではなくできるリフォーム例として評価した。

創工夫点

開口部の少ない蔵ならではの悩みを解決すべく、天井に開口を設け、自然光が取り入れられるように設計。2階のロフトにも、間仕切りにガラスをいれ、取り入れた光を他の部屋にも入るようにした。築80年の家であり、綿密な耐震計画とともに、耐震補強を行った。施工の際には、基礎部分に石が使われており、床下の湿気が逃げにくかったことから、換気扇を設置し、基礎補強も行った。「築80年のこの家を残したい!」という想いと「モダンな雰囲気にした」ということから、外観はそのままに耐震補強をし、空間を広く取りシンプルモダンテイストにした。



立派な梁天窓で明かり取り

建築主	K様
設計者	平岡 静世 (株式会社マエダハウジング)
施工者	林 崇 (株式会社マエダハウジング)
補助金	住宅工ポイントを利用
TEL	TEL(082)2858510

建築主	K様
設計者	上木 浩二・藤原 宏文 (株式会社クラージュプラス)
施工者	石橋 謙司 (株式会社クラージュプラス)
補助金	住宅工ポイントを利用



洗面室/カウンターは車椅子でも利用できるよう設計した造作によるもの。ご家族に女性が多いので、各個人の収納スペースを設けミラーも2つ設置するなど、使い勝手の面も配慮した。

創工夫点

柱や梁といった構造体は現存のまま残しつつ、自然光や風を取り込むプランニングを心がけた。プライベートな空間はしっかりと確保しながら、家族が集う共有スペースのLDKはオープンにし「つながり感」を意識した。さらに、そのLDKから家族それぞれの帰宅の様子が見えるレイアウトにした。

工事期間中は離れに仮住まいしていたため、音の問題等の作業工程には十分な配慮を行ったこと、現場の進捗状況を密に見ていただき、理解していただくとともに、リフォーム期間を一緒に楽しんでいただけたように心がけた。

この家を守りたい! 築80年の蔵を蘇らせたリフォーム



漆喰壁と特注色の床材でこだわりのダイニング。



年月とともに風合いが増すタイル玄関ポーチ。



耐震構造上抜けない梁をいかけた子供部屋。



使いやすいアイランドキッチン。



2F和室

梁をいかけた勾配天井で開放感ある寝室。

選評
(審査委員 長谷川順)
この作品は築47年を経過した住宅を、筋交いや火打ち梁等で耐震性を補強するとともに開口部はペアガラスに交換し、床天井等に断熱材を入れる等で省エネ向上、CO2削減に努め、冬暖かく夏涼しい快適な住まいへのリフォームである。また、大胆な間取り変更でゆったりとしたLDKを実現する等築年数の古い戸建住宅のリフォームを考えられている方にとって参考になる作品である。



スペインの街角を思わせるレンガ風タイル。

創意工夫点
耐震補強をして、家の耐久性を高めることが前提であり、筋交い、金物補強、耐震壁の設置を行った。冬暖かく夏涼しい家にする為に床・壁・天井に断熱材を入れ、開口部もペアガラスにして断熱性を向上させた。子供部屋は勾配天井で開放感を出すと同時に、収納とベッドルームを造作した。お客様は、2階を増築してスペースを広げようと考えられていたが、予算的にも耐震的にも増築なしでスペースを確保すべく、2階の天井を撤去し、上下の空間を有効利用。構造上抜けない柱もあり、制約が多い中で、部屋数や部屋の広さを確保せねばならなかった。

補助金	住宅工ポイントを利用
施工者	菊田明 (株式会社マエダハウジング) TEL(082)285・8510
設計者	平岡 静世 (株式会社マエダハウジング)
建築主	H様



LDK



趣味部屋



娘さんの部屋



キッチン



選評
(審査委員 河原直己)
施主の要望であった明るく広々とした間取りを的確に実現すると同時に、築60年の老朽化した住宅の2階部分や1階の一部を、あえて撤去し減築することで、構造的にも安定させたユニークな作品である。

創意工夫点
玄関の位置を一番日当たりの良い南向きから東向きに変更。2階建てから1階建てに減築し、1階の西側をやや増築して、部屋として無駄なく活用できるようにした。和室3室をはじめ洋室や倉庫、納戸など細かく分かれていた間取りを大幅に変更し、広いLDKを中心に和室、寝室、娘さんの部屋など必要な部屋をそれぞれ確保。浴槽やトイレなど水廻りは固めて配置した。大きな窓を開口したことで、工事後は明るさが十分に。施主の希望通り、朝から夕方まで照明を点ける必要がなくなった。また、かつては多かった段差も解消してバリアフリーとし、ドアは全て吊り戸タイプの引き戸に統一した。

補助金	住宅工ポイントを利用
施工者	竹本 浩義 (株式会社マエダハウジング)
設計者	岸田 彰 (株式会社マエダハウジング) TEL(082)925・5726
建築主	S様



視線の抜け。



部屋によって領域化される。



明るい路地のような玄関。



視線の交流はありながらも、独立した庭のような空間。



スキマによってつくられる光と影。



部屋奥のスキマから壁、天井に光が滲みでてる。

創意工夫点
 築38年、鉄骨2階建アパートの2階2戸を個人住宅1戸へと改修。壁、天井の仕上げを限界まで薄くし、最大気積を確保したうえであえて無駄ともとれるようなスキマを設け、小さな部屋を配置していく。そして、そのスキマを身体スケール、視線、気配などに配慮し緻密に操作することで、スキマは窓になり、縁側になり、路地になり、庭になり、様々な光や影が空間に奥行きを与える。限定された空間内において、数字に表れない広がりを得られないかと考えた住宅。

建築主	U様
設計者	可児公十植美雪 (建築設計事務所可児公植美雪) TEL(0467)808018
施工者	有限会社アルフ TEL(082)9236262



ミニキッチン。タイルはアドリブで組み合わせたオリジナル。



扉内はトイレ。手すりは要所要所に。壁には埋め込み棚を。



キッチンの対面。ここに愛用の六角テーブルを設置した。



ベッドの横に小窓。



before



after

手前がヒヨコハウス。奥に母屋が見える。増築部分の壁は、掻き落とし仕上げ。

増築



アプローチ。漆喰壁は削って白くする。

創意工夫点
 築90年の母屋の脇に建つ、かつて先代がヒヨコを飼育していた小屋をリフォーム。キッチン、トイレ等、最低限の設備を配し、コンパクトで楽しい85歳の二人暮らしを実現。「年寄りには小さいところで気ままに過ごすのがいちばん」とますますお元氣な様子。材料調達の手間や既存のものを積極的に使うことでローコストを目指し、設計だけでなく施工も手作り感あふれる建物となった。

建築主	O様
設計者	林健次郎 (二級建築士事務所インプレイス) TEL(082)27118628
施工者	林健次郎 (二級建築士事務所インプレイス)
補助金	介護保険居宅介護住宅改修費を利用

昔の面影を残し、安全、快適、省エネとの融合リフォーム

広島市佐伯区



減築をすることで、明るい居間が実現。



ご夫婦が一日の中で一番長く過ごすダイニング。キッチン独立させた事でパソコンコーナーもでき、落ち着いた過ごせる空間に。



省エネリフォームのポイントの一つ、太陽光発電の設置で節電意識も高まる。



シンク下はゴミ箱用オープンスペース。吊り戸に電動昇降水切りが設置され、カウンター上はいつもスッキリ片付く。家電・食器も背面収納にすべて収まるように。



基礎補強



暖かく、ゆったり足を伸ばせるシステムバス。

創意工夫点
築40年。部屋数優先の間取りから減築し、外部の光と風が通る住まいになった。1階の座を上げ、基礎の補強工事を行った。また、最新の住設機器を取り入れつつも、雰囲気を変えないコーディネートを中心に掛けた。補助金を使った提案は、ただリフォームするだけではなく、断熱性や安全性・省エネ化を進める上で大変メリットがあった。また、水廻りが箇所にとまらなことでとても暮らしやすくなった。

補助金	広島市省エネ補助金
補助金	住宅用太陽光発電導入支援補助金 SII補助金
施工者	株式会社丸共(一級建築士事務所) (リファイン)五日市 小田 忠輝
設計者	松林弘美 (リファイン)五日市 株式会社丸共(一級建築士事務所) TEL(082)922-5188
建築主	K様

中古住宅再生

子育てを楽しむ家へ

広島市安佐南区



暖かみがある無垢の床。床暖房を設置し暖房時もクリーンな室内。一年を通して子供たちが裸足で駆け回るリビング。ミセスカウンター、パソコンスペース、おもちゃや絵本の収納。それぞれの空間を持ち合わせながら居心地の良いLDK。



洗面脱衣室からミセスカウンター、キッチン、勝手口を通して物干場まで一直線。キッチンの耐力壁がキッチン内の生活感を隠せる効果に。リビングもダイニングも見渡せるキッチン空間。



外周面は取替、天井には新しく断熱材を敷き詰め、床下の断熱材を取替合板で補強。窓を複層ガラスに交換。LDKを魔法瓶の様に包み込んだ。



改装前(左)改装後(下)和風の落ち着いた雰囲気を残し、若夫婦がのびのび子育て生活の出来る住宅に中古住宅を再生させた

創意工夫点
子育ても共働きの主婦の家事も楽しめる家へと家族が集まるLDKを中心に計画。リビング空間が広いメリットを活かし、家事・趣味・遊びと家族全員が過ごせる空間へ。
購入を決めたときは、「こんなに広い土地と家なら、キレイになればいいかな」と思っていたぐらいでしたが、中古住宅でもこんなにも『私たちの家』に再生出来るんですね。家事も効率よくできて、この家で子供たちの成長も家族の絆も深めていけるのが楽しみです。

補助金	住宅用太陽光発電導入支援補助金 SII補助金
施工者	株式会社トータテハウジング (株式会社トータテハウジング) TEL(082)507-7008
設計者	舛木 清子
建築主	S様



段原の家

広島市南区



東面ファザード



インテリアは針葉樹合板とし家具も針葉樹合板を現場加工し小口テープを張る工夫を施し味わいのある空間を低コストで実現。



風が通り抜ける解放された玄関ポーチ。檜の化粧柱がやすらぎを与える。



キッチン収納量と家事導線を入念に打ち合わせをし無駄な機能を省くことでコストを抑えつつオリジナルキッチンを実現した。



玄関の入口にはFIXの透明ガラスを設け訪問客がわかり易いように計画。住宅部分と事務所部分はセキュリティ及びプライバシーに配慮して玄関側から鍵をかけるようにした。

建築主	瀧川利行様
設計者	久保井邦宏+藤本武士 (株式会社アトリエドリーム)
TEL	(082)26119172
施工者	株式会社 大喜
TEL	(082)8753300

創意工夫点

敷地は公園を望める好立地である。この敷地しか建たない特別でありつつ、自然に溶け込むような住宅を考えた。コストを抑える目的と将来の可変性のある住宅にする為、駐車スペースと事務所及び玄関を1階、生活部分は2階とロフトで計画し、必要最低限なプランとした。そして、将来事務所を閉じてお母さんが1階で生活しても支障の無い様配慮した。

外壁は一部無垢の杉板に囲まれて、やわらかく・やさしい表情になった。

選評

(審査委員 谷口和郎)

狭小敷地の劣勢を巧みな構成で魅力的な空間へと導いている事で、従来の生活スタイルの変化への対応も考慮されている。又、無機質になりがちな外観を無垢な木質系に効果的に用いる事で近隣環境にも潤いを持たせている事等、都市住宅の魅力を引き出した秀でた作品である。

建築主	吉見 崇宏様
設計者	立河 博喜 (株式会社トータテハウジング)
TEL	(082)2473133
施工者	西本 哲也 (株式会社トータテハウジング)
TEL	(082)2368800
補助金	住宅工ポイントを利用

創意工夫点

採光に不利で一般には人気の無い北入り敷地にする事でコストダウンを図り、狭小地特有の周囲からのプライバシーの確保をとして光と風の共有を図るための天窓光、吹抜けを遮らないガラスブリッジの提案、空間を仕切る壁は必要最小限に抑えるなどの工夫を採用することによって、薄暗い空き地だった頃の面影が思い出せなくなるくらいに光に溢れ、そしてその提案の延長から家族がつながり感も一層増した暖かい空間が完成した。

選評

(審査委員 前田 政登)

市内中心部に建つ22坪の狭小地に、コストという現実の壁の中、建築主の希望を折り込みながら面積以上の広がりのある空間を実現したところが評価。周辺は住宅が密集している場所だがプライバシーに配慮し外部の開口部は少なくすも、グレーチングを利用したりと内部の採光は確保。住宅地の少ない広島において街中の狭小地のデメリットをうまく克服した事例である。



外観



ブリッジ



リビング



ブリッジ



階段



吹き抜け



Narrow house

都市型 狭小地の家

広島市中区

黒瀬の家

東広島市



敷地東側角より外観を見る。屋根はガリバリウム鋼板 タテハゼ葺き。庇の出は 2700mm。ヴォリュームを抑えた断面計画により、庭側から見ると平屋の様な大屋根の建物。大屋根を生かした駐車スペースは、雨の日でも濡れずに便利。



作業室はテラス・納戸などを挟んで、LDなどの住居中心とは少し離して、独立性を持たせた室としている。家具は造り付け。障子は引き込み。



LDを見る。階段部は収納及び飾り棚として兼用。突き当りのテラスの屋根に、開口があるので明るい。



玄関を見る。土間床はスミモタル仕上げ。室内床は無垢タモ材フローリング t=15。室内壁は珪藻土左官塗り。



アプローチを見る。突き当りの左に玄関。外壁は漆喰塗り。玄関扉を開けていても、道路側からは直接見えない様に工夫。

創意工夫点

敷地現況は南側が親世帯の住居、東側に道路、北側と西側は建物が近接している状態。計画の初期から大切だと考えていたのは、敷地南側のもともとから在る庭をうまく生かした計画とする事。親世帯住居との程よい距離を取る緩衝帯としながら、室内からは木々を含んだ光や風といった外部環境の動きと、その向こうの親世帯住居の動きを、意識する事なく何気なく感じられる様な平面／断面／開口の在り方を考えました。

選評

(審査委員 一丸昌弘)

敷地南面の庭とその先に隣接する親世帯家屋との調和を考慮した大屋根の外観が印象的。一見平屋に見えるが、高低差を設けた内部空間は住まい手を飽きさせない。横長の大きな開口から風と光を呼び込み、自然素材も積極活用するなど、気持ち良い住宅ができあがった。

建築主	石井利宜様
設計者	稲垣年彦・大貫環子 (一級建築士事務所トリムデザイン) TEL(0886)4222・8052
施工者	佐古克敬 (有限会社佐古工務店) TEL(0823)822・3386
補助金	エコポイント対象住宅 (トップランナー基準)

上奥畑の休暇小屋

畑と暮らすパッシヴ・ハウス

広島市安佐南区



棚田の風景にじっくりとなじむシンプルな外観。



大きな梁は地元産の松材を使用。高窓から山の緑も楽しめる。



木の素材に包まれた落ち着いた内観。



通り土間の向うに畑が見える。ここはアプローチだけでなく、雨の日の作業場にもなる。



ウッドデッキからは畑、キッチン、浴室にアクセスできる。



夜は室内の暖かい灯りが辺りにこぼれる。昼間の恵みへの恩返し。

創意工夫点

緑豊かな棚田の一枚にある、自然の恵みを活かした住まいです。日射しや風を活用するパッシヴ・デザインの考えに基づいて東西に長い建物とし、深い軒と高窓を設けています。夏は深い軒が日射しを遮りつつ高窓から風を通し、冬は高窓から直接日射しを取り込むことができます。省エネルギーで心地よい温熱環境の空間となっています。くつろぎながら、料理をしながら、畑仕事の休みに、どこにいても四季折々の棚田の風景を楽しむことができます。

選評

(審査委員 山田 曉)

石積み一段高い、細長い敷地を上手に利用して北側の眺望をめぐらせば取り込んだ無駄のない平面プランになっている。黒く塗られた無垢の杉板貼りは廻りの景観に溶け込んでいて、且つそれなりの存在感も感じさせる。それなりの存在の役目(農作業等に持つと同時に、建物に奥行きを感じさせてもいる。時間と共に使われていける住まいと言える。

建築主	A様
設計者	田村 篤 (株式会社田村建設建築設計事務所) TEL(082)8485110
施工者	株式会社田村建設 TEL(082)8485110



黒瀬の家

東広島市



キッチン～LD LDの中心にはオールシーズン対応の掘りこたつを設置。自然と家族が集まります。



緑の見える主寝室。



外観は和風の平屋建て。自然によりそった木の家の住まい。



玄関から玄関収納を通して洗面スペースまで一直線。



LDK～和室 LD とつながる和室は遊び場やお昼寝スペースとしても活躍します。回遊性のあるキッチンをご家族大満足。

里山が広がる閑静な敷地の自然豊かな環境を生かし、光と風をしっかりと取り込むことを考えました。南面の引き込みの大きな内障子のあつる大開口に深い軒の出のあるウッドデッキを設け、回遊性のあるキッチンとリビングを設けた平屋建てのお家です。国産の杉の無垢材をはじめ安心安全な自然素材の使用にこだわりました。入居後、お子様の喘息も治り、家族だんらんの楽しい我が家になったと嬉しい知らせも届きました。

創意工夫点

建築主	H様
設計者	高原良彦 (株式会社坂田工務店) TEL(0826)45・2218
施工者	高原良彦 (株式会社坂田工務店) TEL(0826)45・2218



夜になると建具がきれいに映し出されます。



内外空間の連続を立体的に構成した家

広島市南区



正面ファサード／右に車庫入口、左は勝手口。



車庫入口より庭の全景／車庫の屋根はガラス+ファイバーグレーチング。



手前テラス1／奥にテラス2と植込み。



書斎／奥にテラス1。



ダイニングキッチン／奥にリビング。



子供室とテーブルのあるテラス3。

この住宅は高気密高断熱（外断熱）の内部空間を実現していますが、各空間は両面採光、通風の空間とし、多様な外部空間に連続しています。2Fのテラス1はダイニングにつながる屋外リビング、テラス2はリビングに続くテラス、1Fのテラス3は屋外の子供室となります。1Fの庭は各居室とつながり、2Fの植込みは敷地の内外に向けて緑を提供するスペースとなります。様々な屋外空間が立体的に配され、内外どこにいても敷地全体を体感することができます。

創意工夫点

建築主	H様
設計者	宮森洋一郎 (有限会社宮森洋一郎建築設計室) TEL(082)243・2717
施工者	山崎清志・坪井友佑 (株式会社増岡組) TEL(082)504・5054

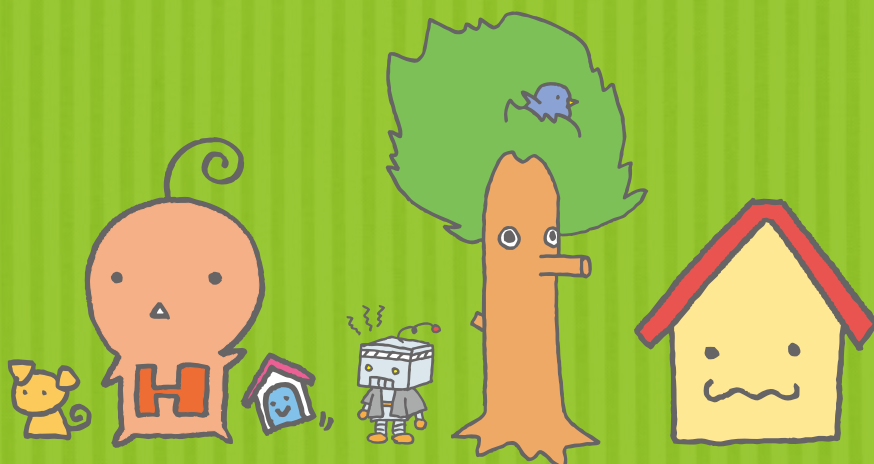
主 催 広島県
ひろしま住まいづくり支援ネットワーク

広島県,呉市,福山市,三次市,東広島市,廿日市市,
住宅金融支援機構中国支店,(社)広島県建築士会,
(社)広島県建築士事務所協会,(社)日本建築家協会中国支部,
(一社)広島県建築センター協会,広島県住宅地産業四団体協議会,
(一社)日本増改築産業協会中国四国支部

後 援 中国新聞社,NHK広島放送局,中国放送,
広島テレビ,広島ホームテレビ,テレビ新広島,
広島エフエム放送,国土交通省中国地方整備局

事務局 ひろしま住まいづくり支援ネットワーク
「ひろしま住まいづくりコンクール2012」事務局

(社)広島県建築士会 本部事務局
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
TEL082-244-6830(代)



ネットワークキャラクター